

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館								
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3377	若槻公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	大会議室、中会議室、小会議室、体育館、南部図書館分室、料理教室、三登山ホール								
施設設置目的	地域の要望・時代の要請に対応する学級・講座の開設、場の提供など生涯学習の推進を図る。								
基本方針等	自主的な学習活動を支援し、互いに高めあい、学びの成果が明るい活気ある地域づくりにつながるような公民館活動の実施を目指す。								
主な実施事業	成人学校講座、おりふし講座、文化祭、館報発行及び編集会議、成人学校作品展、若槻地区内の写真パネル展示等								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」			指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日	3年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	若槻公民館利用者数	人	56,935	53,053	54,313	49,718	92%	3
	若槻公民館利用率	%	46.8	45.0	45.0	44.8	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 教育委員会が定める業務・受講料の収受に関する業務 施設の管理に関し、長野市が必要と認める業務 おりふし講座（三登山講座・洋ラン栽培教室・サマーコンサート等） 		公民館講座（古文書講座、絵手紙教室、夏休み体験教室、子ども将棋講座、終活講座、料理講座、芋井の歴史発見講座） 住民自治協議会公民館部会共催事業（若槻あいあい文化祭）				
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み（広報等）		<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を意識した料理教室や三登山講座の館外学習と歴史講座を合体して、より多くの受講者が館外で学習できる講座を企画した。 ・快適に利用していただけるよう、館内の利便性を図った（廊下等の共有スペース電気を人感センサー、料理教室の空調設備、体育館遮光カーテン、三登山ホール防災絨毯の新調） ・住民自治協議会のHP内の公民館のページを活用したり、新聞社への掲載、市のSNS利用等、幅広く周知を図るとともに、年3回（7・12・3月）館報を発行、あいあい文化祭実施報告を「特集号」としてカラー回覧を発行した。 						

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート (2) 調査、会議等の内容 ①各講座後に利用者アンケートを配布し、回答を得た。 アンケート対象講座 15講座 配布数 476人 回収 250人 回収率 52.5% ②貸館後利用簿を返却の際、利用者からの声を聞いている。 (3) 調査、会議等の結果 ①講座終了後のアンケート結果については、講師に伝え講座内容の改善を図る又は新講座の開講につなげるなどしている。 調査項目（講座抜粋）：三登山講座（かなり満足・満足97%、やや不満・不満3%）絵手紙教室（かなり満足・満足100%） 古文書講座（かなり満足・満足97%、やや不満・不満3%）④宮下先生の歴史講座（かなり満足・満足100%） ②貸館の利用者の要望を聞き、施設の改善につなげている。	4
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ①講座のアンケートから ・毎回楽しみにしている。 ・わかりやすく今後活かしたい。 ・とても楽しかった。 ・日頃の心がけを痛感した。 ・地域の歴史について今後もぜひ継続してほしい。 ・今後も若槻の郷土を中心に学習したい。地元のことがかかったのが楽しかった。 ②電灯のスイッチが手動から人感センサーになり消し忘れがなくなった。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ①講座の苦情 ・隣の会場がコーラスサークルだったため、講師の音が聴きづらかった。 ・「中級編」を増やしてほしい。（古文書） ・もう少しゆっくり進めてほしい。（古文書） ・歴史・民俗関係の講座を希望。 ②近所の方から2階に上がる階段の照明が朝まで点いていたとの指摘をいただいた。 <<対応措置>> ①講座の苦情対応 ・コーラスサークルに開始時間を変更してもらうなど時間を調整した。 ・受講者の希望に沿うように、講師との打ち合わせを密にし講演内容を検討した。 ・新たな講座の企画材料を揃え開講を目指す。 ②施設7か所の手動スイッチを人感センサーに切り替え、照明の消し忘れがなくなった。	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	4,720	使用料	14,160	3
	指定管理料	13,325,000	指定管理料	13,325,000	雑（納付金）		雑（納付金）		
委託料		委託料		行政財産 目的外使用料	12,000	行政財産 目的外使用料	12,000		
販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料			
その他収入	2,897,434	その他収入	3,524,225	その他		その他			
計	16,222,434	計	16,849,225	計	16,720	計	26,160		
支出	人件費	8,155,994	人件費	8,353,501	指定管理料	13,325,000	指定管理料	12,473,000	
	設備管理費	850,000	設備管理費	248,301	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費	32,508	需用費		需用費		
	修繕費	0	修繕費	1,161,118	役務費		役務費		
	光熱水費	1,809,000	光熱水費	1,579,616	使用料・賃借料	2,800,000	使用料・賃借料	2,800,000	
	事業費	2,931,000	事業費	2,503,660	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,544,000	事務経費	2,068,526	工事請負費	393,120	工事請負費	619,920	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	932,440	その他		その他		その他		
	計	16,222,434	計	15,947,230	計	16,518,120	計	15,892,920	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		901,995	差引	-16,501,400		-15,866,760	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								52.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営委員会を2回(6・2月)開催した。 ・地域の声を聴き利用者アンケートの実施や講座開設のための情報収集を行い、住民のニーズの把握に努めた。 ・当該地区内事業所からの積極的な物品購入及び修繕作業依頼 ・住民自治協議会の広報誌に併せて館報を発行することで、タイムリーな情報発信ができた。(30年度は3回7月・12月・3月発行) ・教育文化部の関係部会と連携し、事業を進めることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住自協主催の「若槻総フェスティバル」に参加し、公民館と地域住民とが世代を超えて交流を深めることができた。 ・地産地消を意識した料理講座や芋井公民館と連携した歴史発見講座を実施した。地域交流の場をコーディネートすることができた。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			66

評価理由	平成15年度から毎年開講している講座（三登山講座）の参加者からの声により、新たに歴史講座を開講、参加者から好評を得た。他の講座においても講座修了後のアンケートで、満足が97%と好評であった。地域の声から開催された「若槻あいあい文化祭」（地域での文化活動の発表の場）は本年度で2年目の開催、また近隣の小学校へ公民館講座の地元講師が出向く出前講座を実施していることから利用者評価、地域連携を「4」とした。
------	--

取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）

次年度の目標・取組み等（施設所管課）	次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・各フロアにチラシやポスターを掲示し、来館者に積極的に声かけを行い情報の発信や収集に努めている。
- ・地域の方や利用者の声を聞き、体育館入口の段差を解消してスロープを設置、体育館の遮光カーテン設置、料理教室のエアコン取付、廊下やロビーの照明を人感センサーにするなど、修繕を行った。
- ・南部図書館分室の蔵書を整理したり、乳幼児が下足を脱いでくつろげるスペースを設けるなどして、多くの方にご利用いただいた。
- ・公民館のHPや市のSNSの活用、新聞各社への情報提供など幅広い情報発信に努めた。
- ・地域の行事に参加した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・毎朝のミーティングや講座前の打ち合わせを綿密に行い、職員同士が情報を共有することで、効率化を図っている。

③ その他

- ・成人学校、同好会、サークル、地域の小中学校、地域公民館活動団体等が一同に会した「若槻あいあい文化祭」を開催地域連携を深めた。
- ・近隣小学校へ出前講座（ヨガ、書道教室等）を行うなど学校の連携事業を実施した。
- ・他地区との交流事業で、歴史を深める講座を実施した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

成人式のように指定管理館と直営公民館が合同で行っている事業の企画を進めていく上で、他の公民館と連携をとることが難しかった。会計システムを含めて指定管理の公民館が共有できる情報システムを作してほしい。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・各事業、講座とも滞りなく実施できた。
- ・施設利用者から特段の苦情等もなく、講座等参加者からは「毎回楽しみにしている」「楽しかった」など良好な声が聞かれた。
- ・意見や改善などの話にも即対応して改善を図った（体育館入口の段差解消のためのスロープ設置や廊下の電気消し忘れ等）
- ・指定管理を受けたことにより施設の利便性を図れた。（遮光カーテンや料理教室空調整備、人感センサー取付、防災絨毯の新調など）

② 次年度以降の取組み

- ・地区ならではの豊かな歴史風土や文化・人材を掘り起こし、世代間をつなぐ学びの場の提供をする。
- ・幅広い世代の利用を促進し、特に子供や若い世代の参加につながるようニーズの掘り起こし、新たな視点での講座企画を進める。
- ・豊かな感性を育てる講座や学習を積極的に推進する。
- ・世代を超えた地域づくりの拠点となるような公民館運営に取り組み、地域・時代のニーズにあった講座企画をしていく。